



伊豆の国市立大仁中学校
学校だより 11月号
令和元年11月27日発行

咲き誇る



学校教育目標 『夢を拓く』～学ぶ喜びを分かち合う生徒～

早いもので令和元年も最後の月を迎えることとなり、学校では2学期のまとめをする時期となりました。大中坂の落ち葉掃きボランティアも終わり、3年生は、進路に向け学習にスパートをかけています。2年生も「自習室」という受験準備の学習も始まりました。1年生も充実した学校生活を送っています。

「アルファ シンドローム」を知っていますか？

我が家は、5歳になるトイプードルの雌「ナナ」を飼っています。私が帰宅すると如何にもうれしそうに大きくしっぽを振って迎えてくれます。犬を飼っていることで、新聞や雑誌に犬の記事が載っていると興味深く読むようにしています。先日、「アルファシンドローム～ペットたちの社会化不全と子ども～」という長く上野動物園に勤務された中川志郎さんの記事が目にとまりましたので紹介したいと思います。

「飼い犬に手を咬まれる」という諺があります。日頃大切に思い、面倒を見、安心仕切っていた者に害を受ける、の意味ですが、その喩えに使われるほど犬は忠誠心が高く、飼い主を咬むなどおもいもよらない、という前提で成立する諺です。

ところが、このところ、このおもいもよらないことが頻発し、先進国のペット界に深刻な状況をもたらしているのです。アメリカなど、その咬傷事故は、年間数百万件に達すると報告されていますし、わが国でもその傾向が顕著になりつつあります。

この犬たちの変化は何によって引き起こされたのでしょうか？勿論たった一つの原因で全てが説明できるほど単純ではありませんが、一つに幼児期における母子交流不足、子犬間交流の不足が大きな意味を持つことが明らかになりつつあります。

しかも子犬の可愛さに負けて自由気ままに育ててしまいますから、いつの間にか子犬は、自分がこの群れ（家族）の主（アルファ）であると錯覚し、絶対権者として振る舞うようになります。しかも成長とともにこの傾向は強くなりますから、意に沿わないとことがあると飼い主でも咬むという、思いがけない行動が起こるのです。このような症状を「アルファシンドローム」と呼びます。この犬の行動障害が、ある部分で最近の子どもたちの行動と重なる部分があるのではないか、と思った。と書いてありました。当然、犬と人間とは違いますが、「三つ子の魂百まで」という諺もあります。



事実、近代教育学のバイブル的な本「エミール」を書いたルソーがこのように述べています。

子どもを不幸にする確実な方法をご存知か？普段からほしい物はいつでも手に入るようによくしておくのだ。子どもの要求は、果てしなく膨れあがる。やがてあなたは途方に暮れ、子どもに何かを拒絶しなければならなくなる。それまで知らなかったこの拒絶は、欲しい物を我慢するよりも遥かに大きな苦痛を与えることになるう！

やはり、ポイント、ポイントでの指導、しつけが大切だと思います。スマホなども与えてしまってから、「ああだの」「こうだの」言ってもなかなか効果はありません。スマホは、便利な部分と怖い部分があるなど、渡す前の約束がポイントだと思います。

しかし、我が家の「ナナ」も少し相手にしないとところ構わずオシッコをしてしまうという行動はなかなか直りません。

文責 校長 矢田

ネット安心安全講座 1年生

「性被害防止」のための適切な行動選択ができるようになるために、スマホ・携帯安全教室を開催しました。

【生徒感想】

- ・動画を見ていたら、ありえないと思うことが起きていて、それが現実で起きていることに少し怖くなってしまった。自分は大丈夫だと他人事にしていて、事件に巻き込まれることがあることも知った。自分も気をつけて生活していきたいと思った。
- ・性被害等の動画を通して、軽はずみな気持ちでしたことが大きな事件につながる可能性があること、都合の良い内容で書かれていることの裏に何かあるのか分からないことが分かりました。また、一度流してしまった情報は完全には消せないというのが恐ろしいと思いました。

【保護者感想】

- ・思春期を迎える年頃の男子から普段もあまり学校のことなど話さないの、携帯でのトラブルなど困ったことをちゃんと親に伝えられるのだろうか・・・と心配になりました。まだ、携帯は持たせていませんが、必ずルールを決め使うこと、また日頃から親子の対話をしていけるようにしたいなと思いました。
- ・我家はまだ持たせていません。周りが持ち始め「可哀想かな」と思うときも多々ありますが、持つことによる弊害の方が多いと思われます。まだまだ成長段階で自己抑制力も身につけていく便利なものに慣れるのではなく、不便な中でもいろいろなことを考え体験し人と人とのコミュニケーションを学んだり心が成長した頃に持つのが望ましいと思っています。しかし、子どもの気持ちもわかります。今後子どもと話をしながら適切な時期を考えていきたいと思っています。



1年生職業講話 (ドクターヘリ)

順天堂大静岡病院の医師と看護師を招き、医療の仕事や同病院に配備されているドクターヘリの機能について学びました。

【生徒感想】

- ・人の生と死に立ち会って思うことはいっぱいあると思うし、悩んだり後悔することがたくさんあるだろうけれど、ずーっとそれを引きずらずに次頑張ろうと考える気持ちを私も持てるようになりたいです。今日色々なことを知れたのでぜひ母さんや父さんにも話してドクターヘリ（以下DH）の大切さを分かち合えるようにしたいです。
- ・患者さんの命を助けるために一刻を争う大変な仕事だと思いました。車で1時間以上かかるところも15分で行けてしまうことにびっくりしました。患者さんの命が助かる確率もすごく上がることもわかりました。将来の職業を決める第一歩となりました。
- ・将来医療関係の仕事をやりたいと思っているので今回の話を聞いてとても勉強になりました。人の死や苦しんでいる人たちはあまり見たくないし手術などの仕事はあまりやりたくないと思っていましたが、今回の話を聞いて少し勇気を持ってたので僕も頑張りたいです。
- ・1年間に1300件以上も出動していることを聞いてとてもびっくりしました。
- ・ヘリは時速260kmぐらいあるなんてびっくりした。あんなに現場にセットをもっていくことやたくさんの物が乗っていることにびっくりしました。



後期生徒総会



後期生徒会執行部のスローガン「一步前進」です。よりよい大仁中にしようと頑張っています。

会長	依田さん		
副会長	小田川さん	三浦さん	
執行委員	鈴木さん	西島さん	
	佐野さん	梶山さん	